DocuPrint 4050　追加機能説明書

追加機能補足説明

ファームウエアのバージョンアップによる、機能の追加に伴い、次のマニュアルに記載されていない機能およびその機能を使用するための設定手順について次ページ以降に説明しています。

① 『DocuPrint　4050　ユーザーズガイド』
　1 版 2009 年 3 月発行（帳票 No：ME4357J1-2）
② 『DocuPrint　4050　知りたい、困ったにこたえる本』
　1 版 2009 年 3 月発行（帳票 No：DE4095J1-2）

DocuPrint 4050

■標準 ROM 用ファームウエア Ver.1.2.9 以降：

（2010 年 4 月 23 日以降　下記の ＵＲＬ からダウンロードしてください）

標準 ROM 用ファームウエア Ver.1.2.9 は　公式サイトの URL:
　http://www.fujixerox.co.jp/download/docuprint/download/4050/fw/

ファームウエアバージョンの確認方法は、下記 ＵＲＬ の「2．ダウンロードの対象」を参照ください。
　http://www.fujixerox.co.jp/download/docuprint/download/4050/fw/READMEJ.txt

■標準 + PostScript(R) ROM 用ファームウエア Ver.1.2.9 以降：

（2010 年 4 月 23 日以降　下記の ＵＲＬ からダウンロードしてください）

標準 + PostScript(R) ROM 用ファームウエア Ver.1.2.9 は　公式サイトの URL:
　http://www.fujixerox.co.jp/download/docuprint/download/4050/fw_ps/

ファームウエアバージョンの確認方法は、下記 ＵＲＬ の「2．ダウンロードの対象」を参照ください。
　http://www.fujixerox.co.jp/download/docuprint/download/4050/fw_ps/READMEJ.txt

追加機能設定手順

このたびは、DocuPrint 4050 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、『DocuPrint 4050 知りたい困ったにこたえる本』およびドライバーCD キットの CD-ROM 内に格納されている『DocuPrint 4050 ユーザーズガイド』に記載されていない機能およびその機能を使用するための設定手順について説明しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、『DocuPrint 4050 知りたい困ったにこたえる本』および『DocuPrint 4050 ユーザーズガイド』と合わせてお読みください。

リレー排出機能について

リレー排出とは、センタートレイ（標準）への排出用紙がいっぱいになったときに（フルスタック）、自動的に排出トレイモジュール（オプション）に切り替えて排出する機能です。この機能は、排出トレイモジュール（オプション）が装着されているときに設定できます。なお、リレー排出機能を有効にした場合、ジョブの排出先の指定にかかわらず、排出先はリレー排出機能で選択された排出先になります。

注記

- 電源 ON 時、排出先としてセンタートレイが自動的に選択されます。センタートレイがフルスタック状態のときは、排出トレイモジュールに排出されます。
- センタートレイおよび排出トレイモジュールがフルスタック状態になったときは、どちらかのトレイから用紙を取り出してください。取り出したトレイに続けて排出されます。
- 排出トレイモジュールに排出中に、センタートレイから用紙を取り出しても、排出トレイモジュールがフルスタック状態になるまで、センタートレイに切り替わりません。
- 用紙サイズにより、選択している排出先に排出できないときは、排出可能な排出先に自動的に切り替えて排出します。
  （例：排出トレイモジュールに B4 以上を排出しようとすると、自動的にセンタートレイに切り替えて排出します。）
- 両面印刷の場合、センタートレイがフルスタック状態のときは、リレー排出機能が有効でも排出トレイモジュールへの排出先の切り替えは行いません。
- フルスタック発生後にジョブキャンセルしても、原因となったフルスタック状態を解除するまでは次の印刷は開始されません。
  （例：センタートレイがフルスタック状態のとき、用紙サイズによっては、排出トレイモジュールに排出できません。このとき印刷待ちしているジョブをキャンセルし、その後、排出トレイモジュールに排出可能な用紙サイズのジョブを実行しても印刷は開始させません。センタートレイから用紙を取り出し、フルスタック状態を解除してください。）
- 電源 ON 後またはスリープモード復帰後には、フルスタック状態でもセンタートレイに一定枚数（5 枚）が排出されます。

■ リレー排出機能を有効にする

リレー排出機能を使用するには、操作パネルで［排出先自動切替え］を［する］に設定しておく必要があります。

なお、このメニューは排出トレイモジュール（オプション）が装着されている場合に表示されます。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［機械管理者メニュー］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
   ［プリント設定］が表示されるまで、ます〈▼〉ボタンを押します。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
   ［排出先自動切替え］が表示されまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
   現在の設定値が表示されます。（初期値 : しない）

6. 〈▼〉ボタンで［する］を表示します。

7. 〈OK〉ボタンで決定します。

8. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

ThinPrint .Print® SSL/TLS（暗号化機能）について

本機とネットワーク上にあるほかのコンピューターと ThinPrint 機能を使用して通信する場合に、通信データを暗号化して不正アクセスによる情報漏洩を抑止する機能です。

ThinPrint 機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

■ ThinPrint SSL/TLS 通信を有効にする

SSL/TLS 通信を使用するには、操作パネルで[SSL/TLS 通信]を[有効]に設定しておく必要があります。

なお、このメニューはハードディスク（オプション）と増設メモリー（オプション）が装着されている場合に表示されます。

1. 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
［ThinPrint］が表示されまで、〈▼〉ボタンを押します。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
［SSL/TLS 通信］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで押します。
現在の設定値が表示されます。(初期値 : 無効)

7. 〈▼〉ボタンで［有効］を表示します。

8. 〈OK〉ボタンで決定します。

9. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

2010 年 4 月 1 版
富士ゼロックス株式会社
ME4871J1-1